



日本精神分析協会
精神分析インスティテュート
福岡支部

2022 年度 精神分析セミナー —第9期2年次開催のご案内—

主催：日本精神分析協会 精神分析インスティテュート福岡支部

第9期2年次へのご挨拶

精神分析インスティテュート福岡支部運営委員長
古賀 靖彦

昨年度1年次でみなさんは「精神分析とは何か」という基本的なことを学ばれました。すなわち、S.フロイトの精神分析の創始、治療法としての基本と概念、精神病理と技法、そして症例などでした。今年度2年次ではフロイトの強調に始まる自我心理学、ポスト・フロイト精神分析といわれるクライン学派、対象関係論、自己心理学などの現代精神分析の理論や臨床、さらには現代の問題や子どもに対する精神分析的アプローチが準備されています。これらの講義を通してみなさんの精神分析への理解が一層深まることを期待いたします。

なお、本セミナーは、国際精神分析学会（IPA）の基準に則った精神分析家、あるいは、日本精神分析協会（JPS）が独自に認定する精神分析的な精神療法家になる訓練コースに志願する場合に受講すべき「基礎セミナー」です。また、日本精神分析学会認定研修グループ、そして、日本臨床心理士資格認定協会承認研修会でもあります。

2022年度精神分析セミナープログラム一覧

	テーマ	日にち	時間	講義タイトル	講師
1	自我心理学	5月14日(土)	15:00-17:15	自我心理学の基礎	岡田 暁宜
			17:30-20:00	情緒発達・ライフサイクル論	岡田 暁宜
		5月15日(日)	09:30-12:00	自我心理学の新展開	妙木 浩之
			12:00-12:30	総括	古賀 靖彦
2	クライン派	7月16日(土)	15:00-17:15	メラニー・クライン	西 見奈子
			17:30-20:00	スィーガル・ローゼンフェルド・ピオン	松木 邦裕
		7月17日(日)	09:30-12:00	現代クライン学派	古賀 靖彦
			12:00-12:30	総括	松木 邦裕
3	対象関係論	9月10日(土)	15:00-17:15	対象関係論・独立学派	鈴木 智美
			17:30-20:00	フェアバーン/ ウィニコット	加茂 聡子
		9月11日(日)	09:30-12:00	現代の対象関係論	藤山 直樹
			12:00-12:30	総括	鈴木 智美
4	自己心理学、間主観、関係論	11月19日(土)	15:00-17:15	米国における関係精神分析の動向	岡野憲一郎
			17:30-20:00	コフートの自己心理学	吾妻 壮
		11月20日(日)	09:30-12:00	間主観、関係論	鈴木 智美
			12:00-12:30	総括	鈴木 智美
5	現代の問題への分析的理解	2023年 1月14日(土)	15:00-17:15	トラウマ	岡野 憲一郎
			17:30-20:00	自閉症・発達障害	松木 邦裕
		1月15日(日)	09:30-12:00	現代うつ病	原田 康平
			12:00-12:30	総括	松木 邦裕
6	子ども・思春期分析	3月18日(土)	15:00-17:15	思春期・青年期の精神分析	鈴木 智美
			17:30-20:00	子どもの精神分析	須藤 将司
		3月19日(日)	09:30-12:00	乳幼児観察と精神分析	Dalrymple 規子
			12:00-12:30	総括	古賀 靖彦

第1回 自我心理学 5月14(土)・15日(日)

コーディネーター：古賀 靖彦

「エス(イド)あるところに自我あらしめよ」はフロイト精神分析の到達点であった。人格構造論を中心としたメタ心理学に基づく自我心理学は、アンナ・フロイト、ハルトマンによって継承され、その後、米国を中心にさらに発展した。今回は、この自我心理学における基本的理論について学ぶとともに、対象関係論、自己心理学などのポスト・フロイト精神分析が発達するなかで、現代の自我心理学はどのように展開しているかを明らかにする。また、自我心理学の所産としてのパーソナリティ発達-ライフサイクル論についても学ぶ。

1.自我心理学の基礎 岡田 暁宜(慶応義塾大学環境情報学部)

I) 自我機能 II) 防衛 III) 適応

◆参考図書：

- 1) 土居健郎：精神分析、講談社、1988年7月
- 2) ガートルード・ブランク、ルビン・ブランク著、馬場謙一監訳：自我心理学の理論と臨床—構造、表象、対象関係、金剛出版、2017年
- 3) 古賀靖彦編：精神分析学派の紹介2—自我心理学、自己心理学、関係学派、応用精神分析(現代精神分析基礎講座 第4巻)、金剛出版、2019年11月

2.情緒発達・ライフサイクル論 岡田 暁宜(慶応義塾大学環境情報学部)

I) 情緒応答性 II) アイデンティティ III) ライフサイクル

◆参考図書：

- 1) P. タイソン、R.L.タイソン著、馬場禮子監訳：精神分析的発達論の統合1、岩崎学術出版、2005年12月
- 2) E.H.エリクソン著、小此木啓吾訳：自我同一性—アイデンティティとライフ・サイクル(人間科学叢書)、誠信書房、1973年3月

3.自我心理学の新展開 妙木 浩之(東京国際大学)

I) 治療同盟論 II) 葛藤理論と抵抗分析 III) 自我と対象関係の理論

◆参考図書：

- 1) フレッド・ブッシュ著、妙木・鳥越訳『精神分析マインドの創造』金剛出版、2022年(予定)
- 2) マートン・ギル著、成田善弘監訳『精神分析の変遷—私の見解』金剛出版、2008年
- 3) 古賀靖彦編『現代精神分析基礎講座 第4巻：精神分析学派の紹介2—自我心理学、自己心理学、関係学派、応用精神分析』金剛出版、2019年

第2回 クライン派 7月16(土)・17日(日)

コーディネーター：松木 邦裕

英国で発展したメラニー・クラインを始祖とする対象関係論と本能論を基盤にした学派の精神分析はその有用性が今日世界的に知られています。その理論と臨床を、クライン派三世代を通して紹介します。

1.メラニー・クライン 西 見奈子 (京都大学/白亜オフィス)

I) 人物像と人生史 II) 無意識的幻想 III) 抑うつポジション-妄想分裂ポジション
IV) 投影同一化 V) 羨望

◆参考図書：

- 1) 『子どもの心的発達 (メラニー・クライン著作集1)』誠信書房
- 2) 『対象関係論の基礎』新曜社
- 3) 『愛、罪そして償い (メラニー・クライン著作集3)』誠信書房
- 4) 『妄想的・分裂的世界 (メラニー・クライン著作集4)』誠信書房
- 5) 『羨望と感謝 (メラニー・クライン著作集5)』誠信書房

2.スィーガル・ローゼンフェルド・ビオン 松木 邦裕 (京都大学名誉教授)

I) ハンナ・スィーガルの貢献 II) ハーバード・ローゼンフェルドの臨床
III) ビオンの革新: 前期・中期・後期

◆参考図書：

- 1) 松木邦裕 体系講義 対象関係論 岩崎学術出版社 2021
- 2) 古賀靖彦編 現代精神分析基礎講座 3巻 精神分析学派の紹介 1.クライン学派、対象関係論 金剛出版 2021

3.現代クライン学派 古賀 靖彦 (油山病院)

I) スタイナー II) ブリトン III) フェルドマン

◆参考図書：

- 1) J. スタイナー (1993): こころの退避 岩崎学術出版社 1997
- 2) J. スタイナー (2011): 見ることと見られること 岩崎学術出版社 2013
- 3) R. ブリトン (1998): 信念と想像 金剛出版 2002
- 4) R. ブリトン (2003): 性、死、超自我 誠信書房 2012
- 5) Feldman, M. (2009): Doubt, Conviction and the Analytic Process. Routledge

第3回 対象関係論 9月10日(土)・11日(日)

コーディネーター：鈴木 智美

フロイトの一元心理学から二元心理学への変革は、精神分析を臨床に即したものにしました。英国での対象関係論の歴史的流れをご紹介するとともに、現代の対象関係論を代表する分析家の思索をみていきます。

1.対象関係論/ 独立学派 鈴木 智美 (精神分析キャビネ)

I) 対象関係論とは II) M・クライナー-A・フロイトの大論争 III) 英国独立学派

◆参考図書：

- 1) 館直彦著「現代対象関係論の展開」(岩崎学術出版社)
- 2) G・コーホン編・西園昌久監訳「英国独立学派の精神分析」(岩崎学術出版社)
- 3) 古賀靖彦編代表「現代精神分析基礎講座第3巻」(金剛出版)

2.フェアバーン/ ウィニコット 加茂 聡子 (四ツ谷心のクリニック院長)

I) そのひととなり II) 発達論と臨床技法 III) 患者からみた二人

◆参考図書：

- 1) R.フェアバーン『人格の精神分析学』(講談社学術文庫)
- 2) W.R.D.フェアバーン『対象関係論の源流-フェアバーン主要論文集』相田信男(監修) 栗原和彦(翻訳)(遠見書房、2017)
- 3) 北山修『錯覚と脱錯覚』(岩崎学術出版社)
- 4) D. W. ウィニコット『ピグル』妙木浩之(監訳)(金剛出版2015)
- 5) Guntrip.H(1996): My Experience of Analysis with Fairbairn and Winnicott. IJPA 77.739-754

3.現代の対象関係論 藤山 直樹 (個人開業/上智大学名誉教授)

I) オグテン II) ボラス III) シュミントン IV) ケースメント

◆参考図書：

- 1) オグテン「心のマトリックス」(岩崎学術出版社)
- 2) オグテン「物思いと解釈」(岩崎学術出版社)
- 3) オグテン「精神分析の再発見：考えることと夢みること 学ぶことと忘れること」(木立の文庫)
- 4) ボラス「精神分析という経験 事物のミステリー」(岩崎学術出版社)
- 5) ボラス「対象の影—対象関係論の最前線」(岩崎学術出版社)
- 6) 患者から学ぶ—ウィニコットとビオンの臨床応用 (岩崎学術出版社)

第4回 自己心理学、間主観、関係論 11月19日(土).20日(日)

コーディネーター：鈴木 智美

自我心理学は、米国において自己心理学、間主観、関係論といった理論的展開をみています。米国での精神分析の動向を概観し、その理論や技法について学びます。

1. 米国における関係精神分析の動向 岡野 憲一郎 (京都大学教授)

- I) ホフマンの弁証法的構築主義 II) ベンジャミンのフェミニズム
- III) ブロンバーグの解離理論

◆参考図書：

- 1) 吾妻壮著「精神分析における関係論—その源流と展開」(誠信書房)
- 2) 岡野他「関係精神分析入門—治療体験のリアリティを求めて」(岩崎学術出版社)

2. コフートの自己心理学 吾妻 壮 (上智大学大学教授)

- I) 自己の概念 II) 自己愛と対象愛 III) 自己愛転移 IV) 批判的検討

◆参考図書：

- 1) 丸田俊彦著「コフト理論とその周辺—自己心理学をめぐって」(岩崎学術出版社)
- 2) 丸田俊彦著「間主観的感性—現代精神分析の最先端」(岩崎学術出版社)

3. 間主観性・関係論 吾妻 壮 (上智大学大学教授)

- I) 関係性をめぐる諸理論 II) 自由連想をめぐって III) エナクトメント論
- IV) 関係論的技法論

◆参考図書：

- 1) 吾妻壮著「精神分析における関係論—その源流と展開」(誠信書房)
- 2) 吾妻壮著「精神分析の諸相—多様性の臨床に向かって」(金剛出版)

第5回 現代の問題への分析的理解 2023年1月14日(土).15日(日)

コーディネーター：松木 邦裕

時代は変遷し、新しい病理はその時代特徴を表象します。現代社会を見たとき、トラウマ、現代うつ病、そして発達障害/自閉症スペクトラムが代表的なものとして挙げられるでしょう。精神分析の視座からそれらの病理とその臨床を紹介しましょう。

1. トラウマ 岡野 憲一郎 (京都大学教授)

- I) フロイトとトラウマ理論との関係 II) 精神分析における解離理論の発展

Ⅲ) 愛着トラウマの概念

◆参考図書：

- 1) 岡野憲一郎 精神分析新時代 岩崎学術出版社
- 2) 岡野憲一郎 解離新時代 岩崎学術出版社

2. 自閉症・発達障害 松木 邦裕 (京都大学名誉教授)

- I) 自閉症という病態 II) DSM-5 における現代の自閉スペクトラム障害
- Ⅲ) 自閉を精神分析から理解する IV) 診断と治療

◆参考図書：

- 1) 古賀靖彦編 現代精神分析基礎講座 5巻 治療論と疾病論 12講 自閉: そのころ、病態 金剛出版 2021
- 2) メルツァー, D.他 自閉症世界の探求 賀来博光、西見奈子他訳 金剛出版 2014

3. 現代うつ病 原田 康平 (福岡大学医学部精神医学教室)

- I) いわゆる「新型うつ病」/「現代型うつ病」とは II) ディスチミア親和型うつ病
- Ⅲ) 現代うつ病の精神分析的な理解 IV) 自己愛性パーソナリティ障害
- V) リワーク・デイケアの症例

◆参考図書：

- 1) 野村総一郎 「現代型のうつ病をどう捉えるか」 (pp1-25) 『多様化したうつ病をどう診るか』 (医学書院, 2011)
- 2) 松尾信一郎 「「ディスチミア親和型うつ病」を通してみる現代うつ病医療」 (pp133-154) 神庭重信・黒木俊秀 編 『現代うつ病の臨床 その多様な病態と自在な対処法』 (創元社, 2009)
- 3) 松木邦裕 「第9講 感情障害 精神分析的な視座からとらえる抑うつ」 (pp187-212) 古賀靖彦 編 『現代精神分析基礎講座 第5巻 治療論と疾病論』 (金剛出版, 2021)
- 4) ギャバード, G. 「第16章 B群パーソナリティ障害: 自己愛性」 (pp399-426) 『精神力動的な精神医学 第5版-その臨床実践-』 (岩崎学術出版社, 2019)

第6回 子ども・思春期の精神分析 3月18日(土) 19日(日)

コーディネーター: 古賀 靖彦

子ども、思春期、および青年期の精神分析を学ぶ。これらのアプローチは成人の精神分析とどのような相違があるのだろうか。また、今回は新たに、英国から発展してきている乳幼児観察についても学習する。

1.思春期・青年期の精神分析 鈴木 智美 (精神分析キャビネ)

- I) 発達論からみる思春期・青年期 II) 思春期のこころとその病理
- III) 臨床例より

◆参考図書：

- 1) 小此木啓吾編「青年の精神病理2」 (弘文堂)
- 2) 川谷大治著「思春期と家庭内暴力」 (金剛出版)

2.子どもの精神分析 須藤 将司 (福岡市教育委員会指導部教育相談課/西岡病院/

個人開業)

- I) プレイセラピーから精神分析的心理療法へ II) 子どもの精神分析的な心理療法の基本
- III) 事例

◆参考図書：

- 1) M. クライン：精神分析的遊戯療法「メラニー・クライン著作集4」誠信書房
- 2) E. ビック：今日の子どもの分析「メラニー・クライン トゥデイ③」岩崎学術出版社
- 3) M. ラスティン/E. カグリアータ編「子どものこころのアセスメント」岩崎学術出版社
- 4) 鶴飼奈津子「子どもの精神分析的な心理療法の基本」誠信書房

3.乳幼児観察と精神分析 Dalrymple 規子 (中部学院大学短期大学部)

- I) 観察者の立場でいること・見えてくること II) 乳幼児観察の実際
- III) 実践にどのように活かされるのか

◆参考図書：

- 1) リサ・ミラー他編、木部則雄他監訳「乳幼児観察入門」 (創元社)
- 2) 鈴木龍・上田順一編「子育て、保育、心のケアにいきる赤ちゃん観察」 (金剛出版)

■受講申込みについて

2022年度（2年次）は、ビデオ会議サービス「Zoom」を利用した「ウェビナー」で講義をおこないます。3年次もウェビナーによる受講も可能となるようにいたします。

受講資格

2022年3月時点で、医療、心理、社会福祉、教育などの専門の資格を1年以上持ち、あるいは専門職に1年以上就き、守秘義務を果たすことができる人。

申し込み方法

当方HP (<http://ip-fukuoka.org>) の Google フォームからお申し込みください。

お申し込み後、1週間程度経っても事務局からの連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

* 申込書の記載内容に不備がある場合や、参加資格を満たさない場合は、参加をお断りする場合があります。

受講費

60,000円（通年の受講費）

申込書の受理と参加費の振込確認の両方で申し込み完了とします。

振込者氏名がご本人以外（所属機関等）の場合は、事務局にご一報ください。

申し込み締め切り

2022年4月15日（金）

■受講に際してのお願いとお知らせ

- ・ 受講者側の通信トラブル、機材トラブルなどについて当方は関知しませんので、ご注意ください。
- ・ 講義は、申し込みをした方のみで視聴し、周囲に音声や画像が漏れないようにご配慮ください。
- ・ 受講時の録音、録画、スクリーンショットなどは禁止です。
- ・ 講義資料を転送したり SNS や Web 上にアップしたりしないでください。
- ・ 講義で知り得た個人情報について、口外したり、SNS や Web 上にアップしたりしないでください。
- ・ セミナーの直前は必ず、当方HP (<http://ip-fukuoka.org>) をチェックしてください。
自然災害や感染症などによる緊急な変更が生じた場合は、直ちにHPに記載いたします。
- ・ 受講生全員に受講証明書を発行いたします。
- ・ 1年次-3年次の全てを受講され、条件を満たした方へ
修了証を発行いたします。
但し、通年で3割を超えて（講義6コマ以上）ご欠席の場合は、修了証がお出しできません。

申し込み・お問い合わせ先
精神分析インスティテュート福岡支部

812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目19-3
博多駅前ビル708

TEL.FAX 092-710-5405
E-mail fukuokabranch@jpas.jp